

=====

【ソフト名】 SST G1 アップデートインストーラ

【対象製品】 SST G1 Ver1.1 日本語版

【登録名】 G1 Update 1.2.0.34.exe

【著作権者】 株式会社カンバス

【動作環境】 Microsoft Windows2000 / XP / Vista 日本語版

【配布条件】 1) ダウンロードしたファイルの再配布は、S S T G 1 を所有している人には営利を伴わない形態であれば自由です。
2) 他のメディアへの一切の転載を禁止します。

=====

【ソフト紹介】

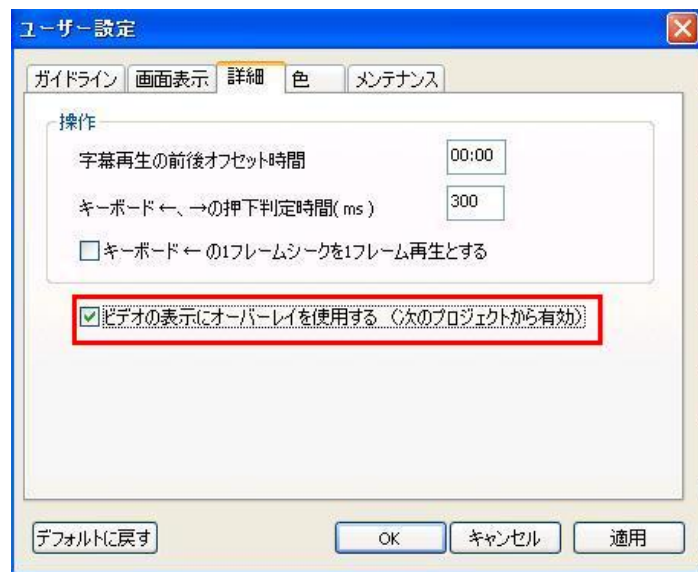
本ソフトウェアは、S S T G 1 日本語版用アップデートインストーラです。

【変更点】 <Ver1.2.0.34> 2008.03.11

- Windows Vista 対応

従来の SST G1 では、字幕と映像を重ねて表示する処理を「オーバーレイ」という機能を使って行っていましたが、マイクロソフトの方針で Vista からはオーバーレイ対応が必須条件ではなくなった事もあり、Vista パソコンの中にはオーバーレイに対応していない機種が存在します。

最近の調査では殆どの Vista パソコンがオーバーレイに対応していますが、対応していないパソコンも存在する事から、「ユーザ設定」の「詳細」にてオーバーレイに頼らない処理方法を選択できる機能を追加しました。



.wmv ファイルではこの機能を使用できません。

この処理方法はオーバーレイよりも高いマシンスペックを要求しますので、オーバーレイに対応しているパソコンでは従来のオーバーレイ機能を使用して下さい。

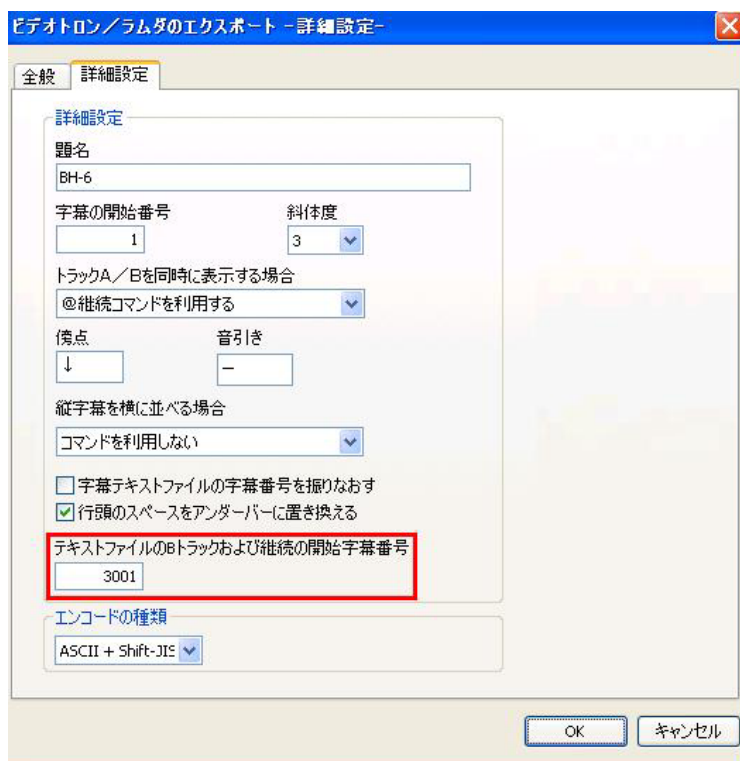
- インポートしたデータ (.cap .mdb など) に縦字幕が含まれていた場合、インポート後のカーニング、レディングの設定が個別設定扱いとなり、前編設定で修正できない不具合を修正。

- ビデオトロン/ラムダファイルのインポート 及びエクスポートで、@コマンドの変換精度を改善しました。

.cap ファイル、.txt ファイルでは、1 つの字幕に複数の@コマンド (斜体 + ルビ等) が存在すると、データのインポートが正しくできない場合があるなど複数の問題がありましたが、今回の修正で@コマンドの変換精度が向上しています。

- ビデオトロン.txt ファイルのエクスポートで、字幕番号の振り方を変更しました。

Bトラックが存在するプロジェクトファイルをビデオトロン.txt ファイルにエクスポートする場合、Aトラックの字幕はSST G1の字幕番号をそのままエクスポートし、Bトラック及びAトラックとBトラックが重なる箇所については3000番台の連番 (下記赤枠内で設定変更可能) で出力します。



字幕番号に小数点や文字列が含まれている場合はそのままではエクスポートできませんので、番号を振り直すか、整数のみの字幕番号に変更してからエクスポートして下さい。

- ラムダ.cap ファイルのエクスポートで、字幕番号の振り方を変更しました。

Aトラック、Bトラックの字幕番号をそのまま出力し、小数点のある字幕番号は、小数点以下をアルファベットに変換して出力します。(例) 1.01 = 1A

- ビデオトロン/ラムダエクスポート (.evt) にて、字幕番号 1 が 2 回出力される不具合を修正。

- ビデオトロン/ラムダエクスポート (.txt .evt .cap) にて、字幕番号の振り直して開始番号指定が無視され 0 番から出力される不具合を修正。
- フォーマット検索実行時に字幕の表示箇所が同期する様に修正。
- Bru-ray SONIC エクスポートに、出力画像サイズ 1280 x 720 を追加。
- Bru-ray SONIC Ver4.3 エクスポートにて、共通パレットの作成中にエクスポートを中断するとアプリケーションエラーとなる不具合を修正。
- SDB インポートにて、フレーム落ち情報があると、インポートした字幕のフレームがずれることがある不具合を修正。
- SST G1 Ver1.2.0.14 の AAF エクスポートにて、エクスポートした AAF を Premiere 等でインポートした際に、映像の後半に行くほど字幕のタイミングが遅れる不具合を修正。
(Ver.1.2.0.14 より古いバージョンの SST G1 ではこの問題はありません。)
- DLP シネマエクスポートにて、2 行縦字幕の行頭の位置が合わない不具合を修正。
- フレーム周波数が 30.00 の.wmv ファイルを使用した場合、タイムコードの同期がずれる不具合を修正。